

令和3年度 北九州市立熊西中学校 学校経営方針（全体構想）



学校教育目標

生徒が生き生きと学び、 自主・自律・共生の精神を育む学校

生徒が主体的に学びながら学力を向上させること、また、生徒が様々な教育活動の中で自らの成長を実感し、自律すること、さらに、生徒が多様な個性を尊重し合いながら、集団として共に成長していくことを実現できる学校を目指す。

<国・市の動向>

- ・学習指導要領の改訂
- ・北九州市子どもの未来をひらく教育プラン
- ・北九州市学力・体力向上アクションプラン第2ステージ
- ・北九州市「指導の重点」
- ・業務改善プログラム
- ・SDGs ・ Society5.0
- ・GIGA スクール構想

校訓

健康 自主
協同 信頼

- 生徒の実態
- 保護者・地域の願い
- 時代や社会の要請

目指す生徒像

- 「健康」 感性豊かに明るくたくましく生きる生徒
- 「自主」 すすんで学び自ら考え行動できる生徒
- 「協同」 礼儀正しく奉仕の精神に満ち、
支え合う誠実な生徒
- 「信頼」 互いを思いやり認め合い高め合う生徒

目指す学校像

- 規律があり、明るく元気のある学校
- 安全・安心で、美しく整備された学校
- 生徒や保護者、地域に信頼される、開かれた学校
- 生徒の「言葉」の力を高め、
一人一人を大切に
する学校
「言葉を育て、心を育て、人を育てる」

目指す教職員像

- 「言葉」を尊重し、「体験」を充実させ、
学習指導の工夫・改善に努める教師
- 教育的愛情に満ち、優しさと厳しさのある教師
- 自ら研修に励み、指導力を高め、
奉仕の精神に満ちた教師
- 生徒や保護者、地域の願いや信頼に
応えられる教師

重点目標と方策

確かな学力・体力の向上

『一時間一時間の授業を大切に。』

『組織で取り組む学力・体力向上』

『学びの基盤となる学級集団づくり～支持的風土の醸成～』

- ① 学力・体力向上推進委員会を中心とした組織的・計画的・継続的な取組
- ② 主体的・対話的で深い学び（アクティブ・ラーニングの視点）の実現
 - ・「わかる授業づくり5つのポイント」に基づく学習指導の工夫改善
 - 生徒の思考を広げ深める話し合い活動、生徒の思考を促す発問・板書、自己の変容や成長への気付きを促す振り返り時間の確保を実践
 - ・「考えをもつ→話し合う交流する→表現する→振り返る」学習サイクル
 - ・タブレット端末等、ICT機器の活用促進
- ③ 生活習慣・学習習慣・運動習慣など学びの基盤づくりと自主学習の充実
 - ・学習規律の徹底
 - ・朝自習・朝読書、自学ノート（熊中ノート）の取組
 - ・体力向上1校1取組の工夫
- ④ 補充学習の充実
 - ・学活や考査前の放課後質問教室
 - ・学力定着サポートシステムの活用
- ⑤ 誰一人取り残さない一人一人を大切にする授業や指導の実践・推進
- ⑥ 校内研修の充実と校外研修への積極的な参加*先進校への視察と交流

心の育ちの推進

- ① 自己実現を目指す積極的な生徒指導
 - ・凡事徹底（時間・身なり・掃除）を重点指導
 - ・挨拶を人間関係力の中心と捉え、挨拶の響く学校を目指す
 - ・組織的な生徒指導体制の確立→授業を活用
 - ・定例生徒指導委員会（情報共有と指導方針確認）
 - ・いじめ等問題事案への速やかな組織的対応
 - ・長期欠席生徒へのきめ細やかな組織的対応 ・QUの実施と活用
- ② 全校体制による特別支援教育の充実
 - ・学びのユニバーサルデザイン化と合理的な配慮
 - ・個別の指導計画等の確実な作成と活用
 - ・共感的な生徒理解に立つ学級づくりの推進
- ③ 自律した生徒を育てる生徒会活動の充実
 - ・あいさつ・いじめ撲滅運動等、生徒会が発信
 - ・学級・学年・学校が一つになる取組の促進
- ④ おもいやりの心の育成や規範意識の醸成
 - ・「考え議論する」心に響く道徳の授業づくり
 - ・人間関係・学級集団づくりを促進する学級活動の充実、子どもつながりプログラムの実施
 - ・非行防止・薬物乱用防止、暴走、情報モラル等の取組の充実
- ⑤ 確かな人権感覚を育む人権教育の推進
 - ・新版「いのち」の活用、「明日への伝言板」等人権作品を活用した人権週間の取組、人権講演会等の実施

社会や世界、生き方との関わりを活かした教育

- ① 「言葉の力」を育む教育の推進
 - ・話し合う活動と書く活動を授業の中に計画的に位置づけた実践
 - ・学びを自らまとめる能力を高めるノート指導。「校内ノート展」の開催
 - ・共通した学級掲示物の活用
 - ・朝読書や、学級文庫等の工夫を通じた読書活動の推進
 - ・生徒会や教科学習と連携した学校図書館の活用促進、蔵書等に関する広報活動の充実
- ② 望ましい勤労観・職業観を育むキャリア教育の推進
 - ・学級活動、総合的な学習の時間を活用した系統的なキャリア教育（進路指導）の実施
 - ・障がい体験学習、保育体験学習等の実施
 - ・生き方を学ぶキャリア講演会の実施
- ③ 日本、地域の伝統文化を尊重する教育の推進
 - ・国語科の百人一首大会、音楽科の箏曲学習
 - ・修学旅行での伝統文化を学ぶ体験活動
 - ・地域の行事（黒崎祇園山笠、祇園太鼓競演会、コイ祭り、餅つき、各市民センター祭り等）への参加
- ④ 健康・安全教育の推進
 - ・健康（感染防止教育・指導の徹底、生活習慣指導、給食指導）
 - ・安全（火災・地震・不審者対応等、防災訓練の実施）

連携の充実

- ① 小・中一貫連携教育の推進
 - ・小・中合同研修会・教員相互の授業参観
 - ・中学校体験授業・部活動見学
 - ・9年間の育ちを共に支える小中ルールづくり
 - ・3校校長会議、実務者会議の実施
- ② 保護者・地域との連携
 - ・学校運営協議会と地域学校協働活動事業の統合と活動推進
 - ・学校からの情報発信（学校通信、学年・学級通信、保健だより、HP、一斉メール等）
 - ・PTA行事・地域行事への生徒・教職員の参加促進
 - ・授業参観、体育大会、文化発表会等公開
 - ・積極的な家庭訪問
- ③ 外部人材・関係機関との連携
 - ・生徒や保護者の支援、教職員と協働しての指導のために、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、少年支援室、特別支援教育相談センター、療育センター等との相談体制を強化
- ④ 学校評価の充実
 - ・学校経営ビジョンの共有とPDCAサイクルの確立（学校経営に関する情報発信）
 - ・学校自己評価（アンケート実施・分析）と学校関係者評価の充実

目標達成のためのキーワード

- チームワークと行動連携
 - ・職員集団の和「チーム熊西」の結束、チームで行う学校運営
 - ・風通しのよい組織、存在感・所属感ある学校へ
 - ・生徒も職員も目標を共有し、皆のやる気が出る学校へ
 - ・一人で抱え込まない（気兼ねなく相談できる温かい職員集団に）
 - ・教育公務員としての自覚と責任感：「知識より意識」体罰・ハラスメント・飲酒運転・個人情報管理等
- 危機管理体制・対応の徹底
 - ・最悪を想定し、慎重に、素早く、誠意をもって、組織で対応する
 - ・報告・連絡・相談・確認の徹底（情報共有・行動連携「記憶より記録」）
 - ・教育相談、いじめアンケートの充実
- 特別な支援が必要な生徒の個別の支援体制を充実させる
 - ・外部の関係機関、心理や福祉の専門家と積極的に連携し支援を受ける
- 業務改善の推進とワークライフバランスの充実
 - ・業務改善への意識改革（柔軟な発想で行事や業務分担を見直し、余裕と笑いのある職場に）
 - ・前例踏襲や形式主義に囚われず新たな視点をもつ
 - ・校務支援システムの効果的活用（回覧板・保存データの有効活用）
 - ・在校時間の短縮（定時退校日・部活動休養日、完全下校時間の遵守）
 - ・学校事務職員の学校運営への積極的な参画
 - ・学校予算の効果的な執行
 - ・部活動の適切な運営（適正な休養日設定、合理的な練習計画）